

# 公益財団法人三越厚生事業団

## 団体情報

代表者 (理事長) 石川 博一

住 所 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル

WEB サイト URL <http://www.mhwf.or.jp/>

## “健康こそ人生最大の財産”

三越厚生事業団は、1947年、戦後焼け野原であった新宿の地に株式会社三越（当時）によって、『財団法人 三越診療所』として設立されました。戦後直後で十分な医療を受けられない人々のための診療所として、子どもや妊婦などに対する無料診療を行うなど、民間医療機関の枠を超え、公衆衛生水準と社会公共福祉の向上に取り組んできました。

その後、1968年には『財団法人 三越厚生事業団』と改称し、社会ニーズの変化をとらえ、診療活動の他に研究及び研究助成

活動や健康管理活動を強化し、予防医学の推進と社会に奉仕する姿勢をより明確にいたしました。

生活習慣病の予防、撲滅を目指した種々の事業を実施しており、2011年4月には、東京都より私どもが取組む事業が公益であるとの認定を受け、『公益財団法人 三越厚生事業団』としての新たなスタートを切っています。

当事業団の事業内容についてご紹介いたします。

### 1. 生活習慣病等の疾病の病因・診断・治療及び予防に関する調査研究のための健診・診療事業

健診・診療事業は当事業団のベースとなる事業活動であり、両事業の実施を通じて、生活習慣病の予防、撲滅を目的とする研究のためのさまざまな諸データを収集しています。健診では、東京都民、企業・団体の従業員等を中心に年間約12,000名余の、診療では、年間約17,000名余の（2018年度実績）受診者のデータを収集・蓄積しており、生活習慣病等の予防、病因の解明等の研究の貴重な資料として活用されています。また、高齢者の健康維持・増進に役立つため、東京都内の社会福祉施設入居者を対象とした無料巡回健診を実施しています。



特に当事業団では、健診と診療の連携が深く、生活習慣病健診を契機とした再検査、受療の比率が高いことが特徴となっております。健診での早期発見、治療を通じた薬物効果の判定や治験等を通して、健診から診療まで一貫してフォローすることが出来ることで、他所では出来ない新たな研究成果をあげています。

## 2. 諸データの分析・研究の成果を活用した生活習慣病に関する普及啓発事業

健診・診療等で蓄積した諸データの分析・研究を行い、学会での演題発表、医療関係者に対する外部講演会、東京都・新宿区医師会との連携による地域医療への貢献等の活動を行っています。併せて、年度ごとに健診、診療等の統計調査と観察結果を「事業年報」に取りまとめ、健康保険組合および企業関係者、関係医療団体（病院・研究機関）、関連社団法人・財団法人等に配布しております。これらの活動を通じて、最新の医療情報の提供、発信に積極的に取り組んでいます。

その他、生活習慣病予防や知識向上を目的とした「健康セミナー」を当事業団医師ならびに著名な外部講師を招聘して開催しているほか、東京都内において、受講者参加型（相談型）の「健康講座」を開催しています。この健康セミナー、健康講座はそれぞれ2000年、2003年より継続して実施しており、生活習慣病予防のための中核事業として多くの皆様より好評を博しています。



## 3. 諸データの分析・研究の成果を活用した健康相談、健康保持増進事業

日々の健診、診療から得られるさまざまな成果を活用した「相談事業」、「健康保持増進事業」を展開しています。相談事業では、健診に関する電話相談サービスや健康相談、管理栄養士による栄養指導など、受診結果に基づく個別指導の強化へ向けたさまざまなプログラムの開発に取り組んでいます。

また、健康保険組合や健診先企業との連携による「生活習慣病健診報告会健康管理者セミナー」の開催など、生活習慣病の予防知識の向上、健康教育のための啓蒙、普及に努めています。

#### 4. 生活習慣病の基礎的研究の発展を目的とする医学研究助成ならびに医学研究者に対する助成事業

医学の振興、生活習慣病の基礎的研究の向上を目的に毎年公募型の助成を行っています。本助成は、生活習慣病等の疾病の病因・診断・治療及び予防に関する先進的研究について助成する「三越医学研究助成」と医学研究者の人材育成を目的とした「三越海外留学渡航費助成」を大きな柱としております。医学研究助成は1973年に、海外留学渡航費助成は

2000年に創設されました。2019年までの実績として、医学研究助成は、総人数291名総額42,308万円、海外留学渡航費助成は、総人数66名総額3,990万円を助成いたしました。今日まで多くの有益な研究や医学研究者を輩出しており、医学界の発展、水準向上に貢献しています。



私たちはこれまで長い歴史の中で、「医」を通して社会に貢献してきました。超高齢化社会を迎えた我が国においては、生活習慣病の予防が国民の健康を維持し、健康で長生きするために極めて重要になってきています。

これまで様々な場面で我々の活動を後押しして下さった方々に感謝し、今後も、国民一人ひとりが生涯に亘り、元気で生き生きと生活できる「明るく活力ある社会」の構築のため、精進してまいります。